

令和6年度 事故等に関する包括的公表（第2回/R06.06.01～07.31）

No.	発生年月	発生場所	種別	概要	再発防止策
4	R06.06	ダイルーム	口腔内出血	<p>ダイルームにおいて夕食介助を実施中、プラスチック製ボトルの飲み口の部分を、本来 1 cm程度を口に入れて水分摂取を行うところ、3 cmほど入れて行ったことにより、先端部が口蓋(うわあご)に当たり出血いたしました。</p> <p>食事終了の 30 分後に行った、歯磨き介助の際に発覚し、10～15 分程度の圧迫止血処置を行いました。</p>	<p>食事介助に従事した職員に、プラスチックボトルの飲み口を、どの程度口に入れて水分摂取を行うのかの理解が足らなかったことに加え、当該利用者様が口を開けづらい特性があることも影響し、不適切な介助に至りました。</p> <p>利用者様ごとの食事介助シートにある介助見本写真に、1 cm以上口に入れないことを加筆するとともに、ボトル側にも同様の表記をいたしました。</p> <p>また、ケアが適切でないと気付いたときは、職員間で即時修正しあうことを徹底してまいります。</p>
5	R06.07	不明	骨折	<p>西部医療センター(消化器内科)に定期受診のため通院した際、撮影した腹部 CT において、右大腿骨頸部骨折後に仮骨形成されている状況が判明いたしました。前回(本年1月の撮影時には骨折は認められま</p>	<p>骨粗しょう症の影響も考慮し、軽微な力でも骨折に至る可能性を常に意識しながら、日々のケアに当たることを、引き続きスタッフ全員に周知徹底してまいります。</p>

令和6年度 事故等に関する包括的公表（第2回/R06.06.01～07.31）

No.	発生年月	発生場所	種別	概要	再発防止策
				<p>せんでした。)</p> <p>1月以降、下肢の痛みの訴えや明らかな腫脹、熱感を確認されておらず、骨折に至った経緯や時期については特定できておりません。</p>	
6	R06.07	居室	転落	<p>シーツ交換を行った際、ベッド端で側臥位になられた利用者様に、上半身の急な動きがあり、傍らで交換作業をしていたスタッフが支えきれず、スタッフの上に乗るかかのようにして転落いたしました。</p> <p>利用者様は、頭頂部に出血を伴う擦過傷を負われたほか、右足首にも擦過傷を負われ軟膏処置を行いました。頭部レントゲンでの異常は確認されませんでした。</p>	<p>事故当日、病棟内で新型コロナウイルスの陽性者が複数確認され、繁忙を極める中で、スタッフが1人でシーツ交換作業に従事している状況にありましたが、可能な限り複数体制での対応を徹底してまいります。</p> <p>また、ベッド上でのケア場面においては基本的に柵を設置した状態で行うことが必要であり、シーツ交換などで外す場合も最小限にとどめ、常にベッド上の利用者様の位置や体位に細心の注意を払うことを重ねて徹底してまいります。</p>

※No.1～3 公表済み